

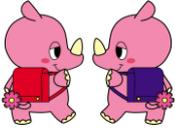
原っ子つうしん

令和5年

10月6日（金）

印西市立原小学校

校長室便り〈第6号〉



＜学校教育目標＞

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成

～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

昨日、前期の通知表をお配りいたしました。前半の学習や活動をしっかりと振り返り、後半も充実した学校生活を送れるよう、全職員全力で努力してまいります。

※通知表「あゆみ」の見方については、昨日スクリーンで配信したものをご覧ください。

＜いじめは絶対ゆるさない＞ 以下は、先日の全校集会で私が児童に伝えた話です。

私は、中学1年生の頃、いじめられていました。同じクラスの男子数人から嫌なことを言われたり、買ったばかりの筆箱を壊されたり、消しゴムのかすを頭にかけてられたりしました。とても悲しくて、授業中ずっと泣いていたこともあります。それは、友だちにも先生にも親にも、誰にも言えませんでした。本当に辛くて苦しかったです。学校を休もうと何回も思いました。しかし、放課後の部活動にどうしても参加したかったので、我慢して学校に行きました。部活動には、楽しい野球部の仲間がいました。

そして、中学2年生になり、クラス替えもあって、私に対するいじめは殆どなくなり、私は無事高校に進学しました。

私は高校生になり、大好きだった野球をやめ、ラグビー部に入りました。毎日、朝早くから放課後遅くまで一生懸命練習しました。昼休みも筋肉トレーニングをして、学校や部活がない日も自主的に練習をしました。今思うと、「今までの人生であんなに体を鍛えたことはない」というくらい、とにかく一生懸命練習しました。体と体が激しくぶつかり合うスポーツなので、体を鍛えないと怪我をしてしまいます。やがて、私の体は、厳しい練習のお陰で、頑丈な体になってきました。

そして、高校2年生になったある日、中学1年生の頃、私をいじめていた一人が向こう側から歩いてくることが見えました。私は「きっとあいつだ。よし、中学の時の仕返しをしてやろう。」と思いました。そして、私に近づいてきたその人は、私に向かって小さな声で「やぁ。」と一言だけ言いました。その瞬間、私にはその人がとても弱々しくて小さく見えました。私は「なんてことを考えていたのだろう。ここで仕返しをしたら、自分もあの人と同じで、いじめをしたことになる。」と思い、「おっ、久しぶり。」と一言だけ返事をして家に帰りました。私はその時、「これで終わったんだ。」と自分に言い聞かせました。

そんな私が最初に勤めた学校で、クラスにいた一人の男子が、いじめが理由の一つで転校してしまいました。その時から私は、毎年受け持った子どもたちと保護者に「いじめはどんなことがあってもしてはいけない。いじめは絶対許さない。」と真剣に話をしてきました。

原小学校の皆さん、先生方からも何度も言われていると思いますが、いじめは絶対にいけません。私は4月の始め、先生方全員に「いじめは絶対に許さないということを、心の底から力強く子どもたちに伝えてください。」とお願いしました。もし、いじめがあった時や困ったことがあった時は、一人で我慢しないで、いろいろな方法で近くの人に相談してください。学校では、是非先生たちに伝えてください。先生方は全力で守ってくれます。

これからも、大切なものなのに、目には見えないもの、そして私が大事にしている3つのうちの一つである「おもいやり」の心をもち続けてください。一人一人がそれをもっていれば、いじめは起きないはずですよ。